

# 令和5年度 子ども大学おがわ 縄文探検隊

## 1. 実施体制

子ども大学おがわ 縄文探検隊	学長	小林 和夫
	副学長	—
子ども大学おがわ 縄文探検隊	実行委員長	—
	実行委員 (関係団体)	小川町教育委員会


## 2. 事業内容

開催回数	3回	開催期間	令和5年8月23日～令和5年9月30日			
参加者数	17名	内訳	小学4年生	3名		
			小学5年生	11名		
			小学6年生	3名		

### 3. 実施内容

1 日目	開催日時	8月23日（水） 9：30～16：30	
	会場	リリックおがわ	
	講義名	「縄文を知り土器をつくろう」	
ふるさと学	講師	小川町教育委員会生涯学習課 山本卓郎（文化財担当） 関口克己（陶芸家）	縄文縄も手作りで生成して土器に模様を付けました。
	開催日時	8月25日（金） 8：30～17：15	
2 日目	会場	群馬県みなかみ町矢瀬遺跡 群馬県立埋蔵文化財調査センター	
学	講義名	「縄文人の生活を体験しよう」	
	講師	みなかみ町教育委員会学芸員 群馬県埋蔵文化財調査センター学芸員	

### 3. 実施内容

3日目	開催日時	9月30日(土)		
		9:00~12:30		
学	会場	小川げんきプラザ		
	講義名	「縄文を感じよう」		
	講師	関口克己(陶芸家) 小川げんきプラザ職員		
				焼けた土器が割れていないかドキドキでした。

## 4. 参加者の声

<p>参加した子供の声 (感想)</p>	<p>&lt;アンケートは未実施ですが、直接何人かの子供たちに感想を聞きましたので記載します。&gt; 実際に土器をつくったり、火起こし体験をしてみて、今、どこでも簡単に手に入るものが縄文時代の人たちは全部手作りで大変だったんだなあということがわかった。 火起こしが難しかったけど、火がついたときはうれしかった。 縄文時代の人がおしゃれだったことが意外だった。 知らない子と一緒にグループだったけど、いろいろ話をして仲良くなって楽しかった。</p>
<p>保護者の声 (感想)</p>	